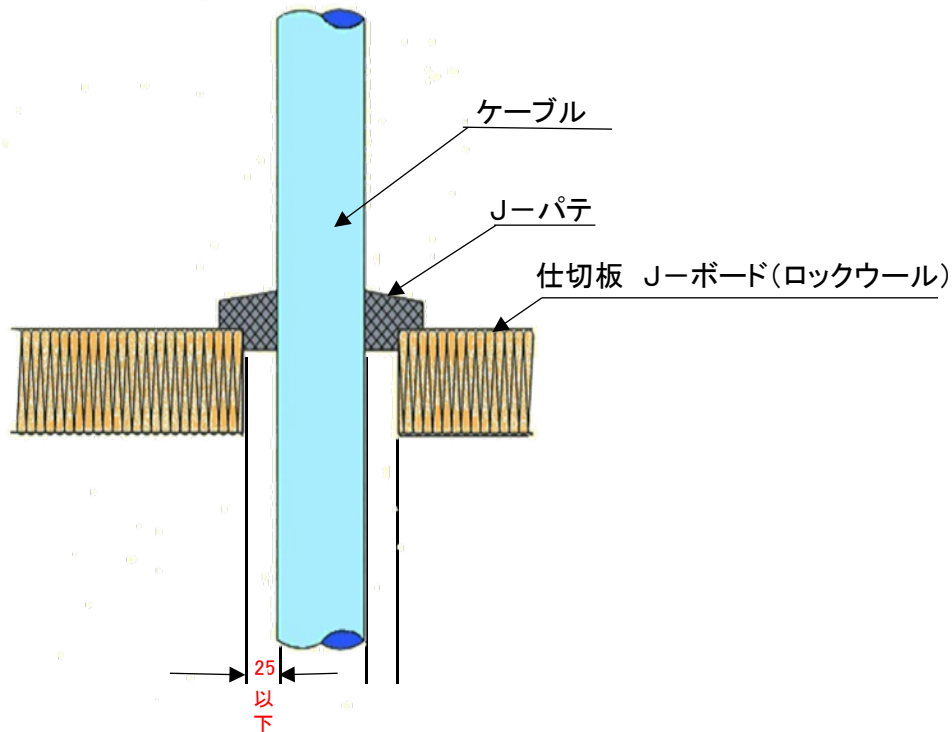


施工に関する注意点

1 隙間

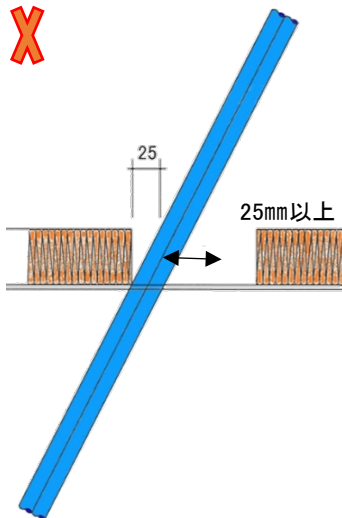
後通線後のケーブルと仕切板 J-ボード(ロックウール)の隙間は**25mm以下**でお願いします。
25mm以上の場合、仕切板 J-ボード(ロックウール)を詰めて基準内に収めて下さい。
その場合、接着剤(ニチアス インシュレーションアドフェックツ[®] 推奨)をご使用願います。



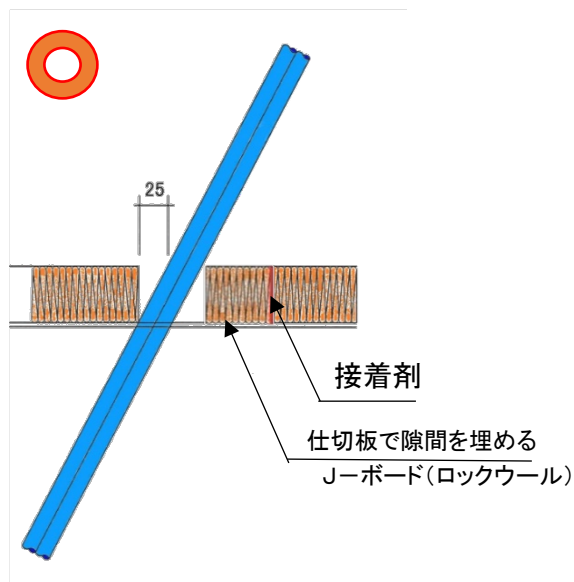
1-2

斜め方向にケーブルが来る場合も同様に、**25mm以下**になるよう仕切板 J-ボード(ロックウール)を詰め基準以下に収めます。

X



O

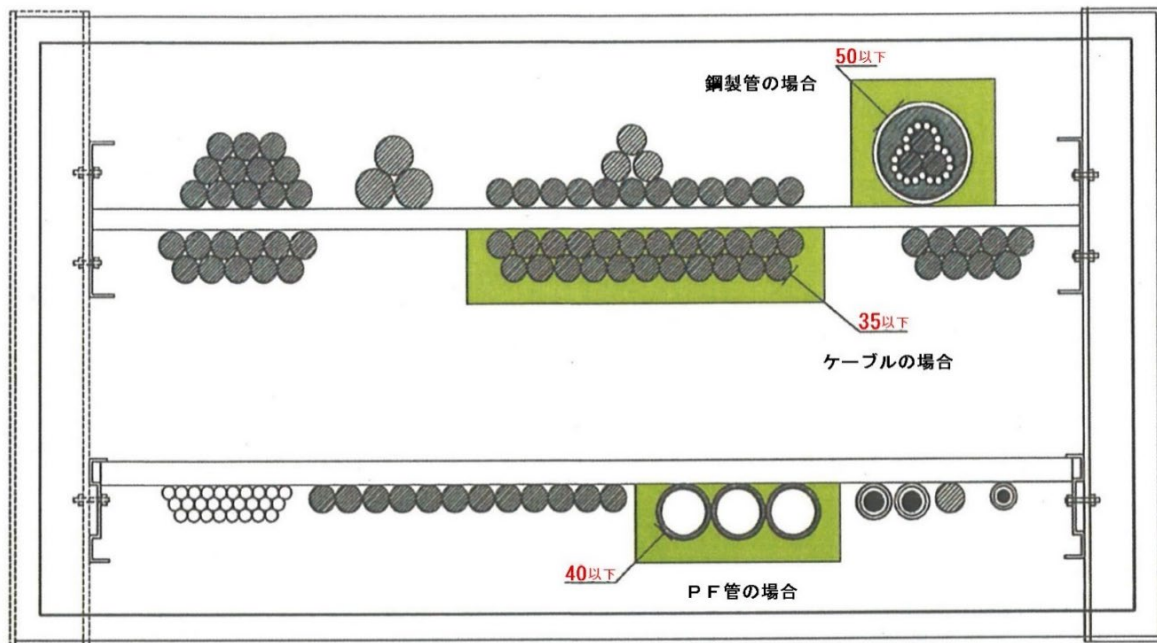


2 開口の大きさ

ケーブルのコーナー部は**35mm以下**。

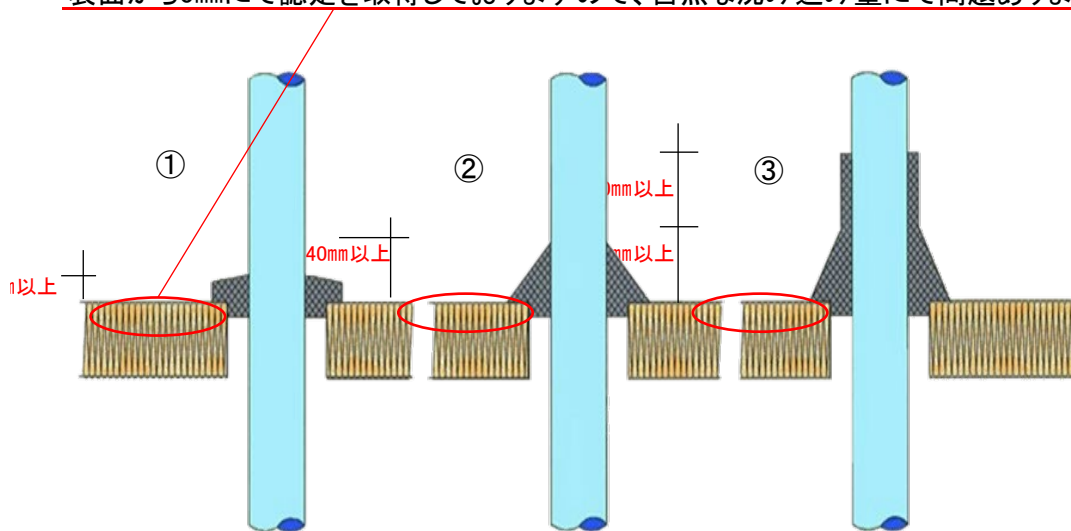
PF管のコーナー部は**40mm以下**。

鋼製管のコーナー部は**50mm以下**。



3 パテ盛り高さ

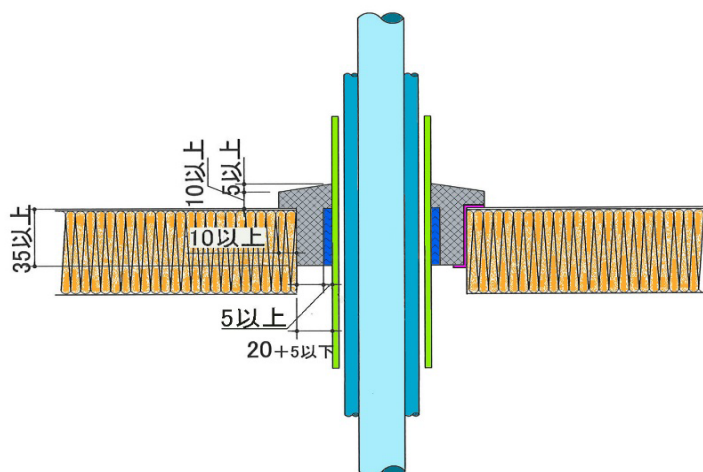
表面から0mmにて認定を取得しておりますので、自然な沈み込み量にて問題ありません。



ケーブルサイズに合わせて盛り高さを決めます。

- | | | |
|---|---------|----|
| ① 100mm ² 未満 | 10mm | 以上 |
| ② 100mm ² 以上 325mm ² 未満 | 40mm | 以上 |
| ③ 325mm ² 以上 | 50+50mm | 以上 |

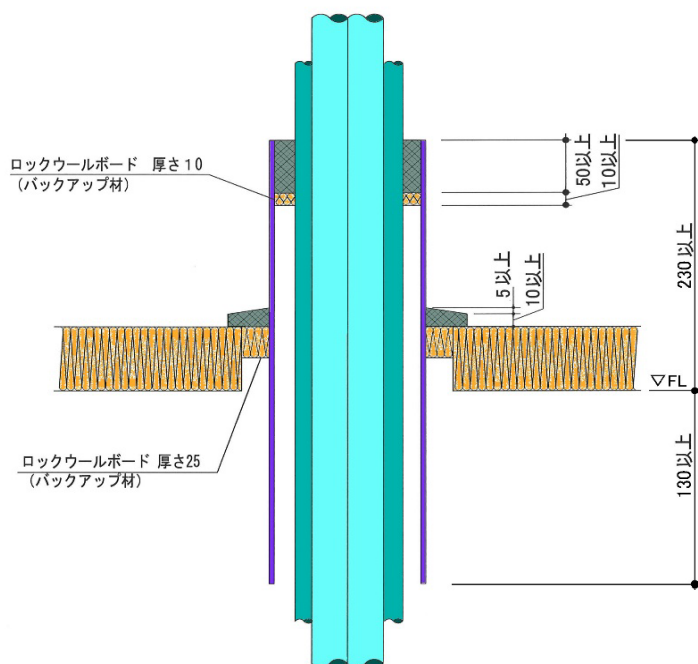
PF管



一般施工 深さ規定35mm以上ですので、図の様にZ型金物を使用するか、ロックールを詰め35mm以内であることを確認し、J-パテ(TBXパテ)を5mm以上の厚さにて巻付け、J-パテを充填して下さい。

- ◎ **先行施工** 可とう管にJ-パテ(TBXパテ)、J-パテの順に巻付け、団子状にし、厚み、深さの確認後、ロックール板を加工し、はめ込みます。
- ◎ 合成樹脂可とう電線管はPF管のみとなりますので、CD管の場合は、PS060FL-0230・PS060FL-0243の仕様にてお願いします。

鋼製電線管



鋼製管内はロックール10mm以上を詰め、スペースが50mmあることを確認し、J-パテを詰める。鋼製管とロックールの間はロックール厚25mm以上。
※ブッシングは鋼製のみで、樹脂製は使えませんのでご注意ください。

お買求め
株式会社ジャステック

愛知県みよし市福谷町花立53番地1
TEL0561-76-6100

関東地区

株式会社ビーシージェー
東京都台東区東上野1-13-2
TEL03-5826-8580